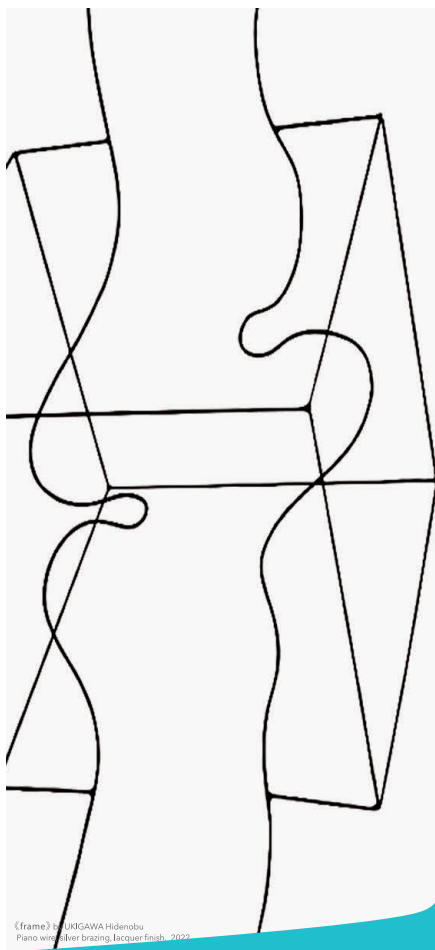


谷折

山折



《frame》by UKIGAWA Hidenobu
Piano wine silver brazing, lacquer finish, 2022

9月5日(土)ー13日(日)

会場 COSA & ベルリーフ大月

- ・メイン会場： 大月町文化教育交流拠点 COSA
高知県幡多郡大月町小才角 350 TEL 0880-75-5262
[稲毛駅から]・バスで40分(高知西南交通「小才角」下車 徒歩7分)
・車で30分(R321)
- ・サテライト会場：ベルリーフ大月
高知県幡多郡大月町南防府 404 TEL 0880-79-5025
[稲毛駅から]・バスで40分(高知西南交通「エコロジーキャンプ場前」下車 徒歩8分)
・車で30分(R321)



《Untitled》by HASHIMOTO Tomoko
Mixed media, 2023

透明なコピーとやわらかいリアル



《Stone》by ONEBII Nobuaki
Paint on resin, 2026

大月コンテンポラリーアート2026

オモテ

OTSUKI CONTEMPORARY ART 2026

大月コンテンポラリーアート展は2022年に始まり今年で5年目になります。今年は、京都市立芸術大学で版画を指導する大西伸明教授と大学院生たち、人形作家・はしもとともこ、そして彫刻家・浮川秀信を招き、「透明なコピーとやわらかいリアル」と題した展覧会を大月町文化教育交流拠点COSA、およびホテル・ベルリーフ大月をサテライト会場として開催します。

透明なアクリル樹脂に彩色することで、日常目にするものの精巧なコピーをつくる大西伸明の作品は、これまでの「コピー」のイメージを変えるものです。はしもとともこは、布や羊毛、皮革で動物や人形をつくっています。それはやわらかくかわいらしく見えますが、対象の本質に迫るリアルな存在を感じます。そして、浮川秀信は、硬いピアノ線を自在に変形し、一見「見えない」立体作品をつくり出します。浮川はこれを「空気をつかまえる装置」と表現しています。

私たちは日々、目や耳、触覚を通して世界を認識し、その記憶(コピー)から現実(リアル)を形づくっています。しかし、その「リアル」は決して固定されたものではなく、揺れ動くものでもあります。本展に登場する作品たちは、そうした私たちのリアル感覚を揺さぶるでしょう。

大月町では、過疎化・高齢化が進行する中、地域の魅力を再発見・再発信、地域住民のつながりを深める新たな取り組みが求められています。本アートイベントは、地域振興と移住促進の一環として、芸術を通じた地域活性化を目的に開催します。

+1art



Transparent Copies and Soft Realities

アーティスト

大西伸明 ONISHI Nobuaki



1972年岡山県生まれ。1998年京都市立芸術大学大学院美術研究科版画修了。唯一無二の自然物や、身の回りに溢れる工業製品、時間を経て「一点もの」となった人工物などを型取りし樹脂で複製。精巧な彩色でリアルに再現した部分と透明な樹脂の素地を混在させることで、再生産可能性と唯一性、実在と虚構の「あわい(間)」を顕現させ、「存在」や「オリジナル」とは何かという問いを投げかけている。主な受賞歴に、「京都府美術工芸新鋭選抜展」最優秀賞(2004)、「第1回岡山県新進美術家育成」11氏賞・大賞(2008)、「第23回五島記念文化賞美術新人賞(2012)」、「PAT in Kyoto:第1回京都府美術トリエンナーレ」優秀賞(2013)、京都府文化賞奨励賞(2013)、第39回京都美術文化賞など。現在、京都市立芸術大学教授・多摩美術大学客員教授。



はしもとともこ HASHIMOTO Tomoko

1985年大阪府生まれ。2010年、成安造形大学造形学部 彫刻クラス修了。玩具の歴史を手がかりに、その役割を読み解きながら、玩具が内包する機能や意味を作品へと転換する表現を探索している。人形というメディアを通して生み出される作品は、独自の存在感を漂え、毎年開催される個展では世代を超え多くの支持を集めている。2025年、第1回人形研展にてミヤタイコ賞を受賞。2026年より、国谷隆志とのユニット「antitail」として活動を開始。



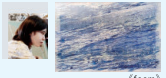
浮川秀信 UKIGAWA Hidenobu

1942年大阪府生まれ。1968年大阪芸術大学(現・大阪教育大学) 絵画専攻科修了。1969年に、あの画廊(大阪)で初個展を開催。以降、信濃橋画廊(大阪)をはじめ各地でほぼ毎年個展を開催している。また、「アート・ナウ 77」(1977)、「日本国際美術展」(1978, '79, '81)などに出品し、1970年代から現在に至るまで半世紀以上にわたり、彫刻作品の発表を続けている。制作初期には、水を入れた風船を型取りした量感のある造形を手がけ、その後、作品は次第に細身のフォルムへと展開した。現在は、ピアノ線を素材に制作を行い、空気や空間の気配、不可視の存在を彫刻として表現する可能性を探索している。



中桐聡美 NAKAGIRI Satomi

京都市立芸術大学大学院修士課程3年



水性インク、シルクスクリーン 800×1220mm 2023



川畑智雅 KAWABATA Tomomasa

京都市立芸術大学大学院修士課程2年

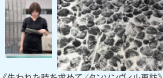


シルクスクリーン バラフィンによる凹凸彫刻 910×1370mm 2025



岡田摩耶 OKADA Maya

京都市立芸術大学大学院修士課程2年



炭粉、シルクスクリーン 600×2000mm 2026



田中西乃介 TANAKA Sennosuke

京都市立芸術大学大学院修士課程2年



ゼラチンシルバープリント、RC板 279×356mm 2025



堀江優希 HORIE Yuki

京都市立芸術大学大学院修士課程2年



シルクスクリーン、メディアウム、木 910×1820mm 2026

9/5 土ー13日 AM10〜PM4

会期中イベント

*参加費記載のないイベントは無料

アーティストトーク 9/5 PM1~2

/ 大西伸明、はしもとともこ、浮川秀信、京都市立芸術大学大学院生

ワークショップ 9/5 PM2~3:30

ちいさきものを作る / はしもとともこ

●参加費: ¥500(材料代)

●定員: 5~6名

(要予約)▶MAIL gal@plus1art.jp または COSAまで

音楽会 9/5 PM4~5

/ 森下海央海 MORISHITA Suomi

(ギタリスト、作曲家)

ワークショップ 9/13 PM1:30~3

塩の結晶版画 / 大西伸明、京都市立芸術大学大学院生

大月町の海水を版画インクに、独自の技法に挑戦

●参加費: ¥500(材料代)

●定員: 10名(要予約)▶MAIL gal@plus1art.jp または COSAまで

展示

ベルリーフ大月

休館日(火・水・木)

公開制作・展示(9/6~13)

展示

06日

07月

08火

09水

10木

11金

12土

13日

クロージング



詳細はコチラ
www.plus1art.jp

お問合せ TEL: 0880-75-5262(COSA)・MAIL: gal@plus1art.jp(+1art)

主催 +1art
共催 COSA (大月町)
後援 高知県、公益財団法人高知県文化財団、高知県立美術館、高知新聞社、大月町教育委員会、RKC高知放送、KSSさんさんテレビ
協力 くるしお芸術協議会、ベルリーフ大月、中地シェフ(海辺の自然史研究会)、榎島康仁(土壌会)

令和8年度第76回高知県芸術祭協賛行事